

■効果の見える治水事業

徳島県阿南市西浦地区における特定利用斜面保全事業

「津波避難場所の確保」

徳島県県土整備部河川局砂防防災課長 平田 優裕

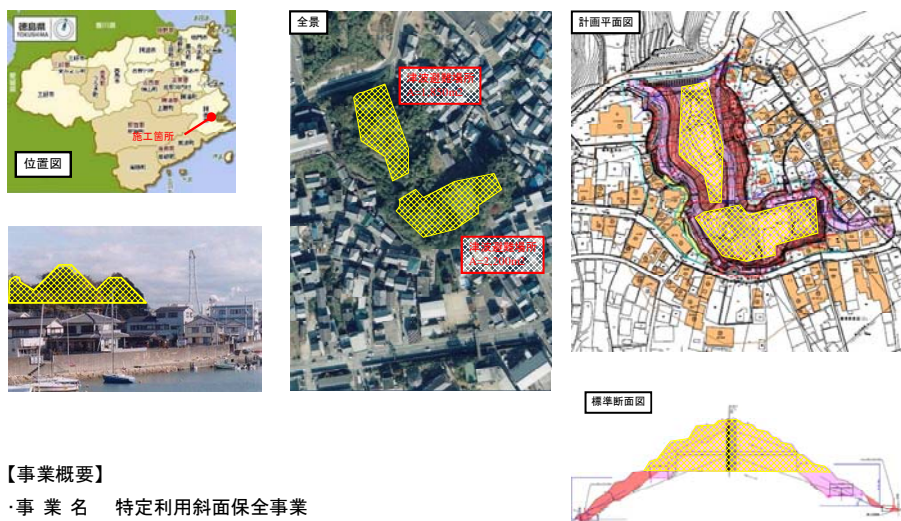


西浦急傾斜地崩壊危険区域は、徳島県南部の阿南市橋町西浦地区に位置し、急傾斜地の規模は、がけ高約25m、勾配56°、延長170mであり、がけ崩れが発生した場合の被害は、人家40戸、市道及び災害時要援護者関連施設である市立橋幼稚園などが想定されています。

また、同地区は沿岸地域に位置することから、東南海・南海地震の発生時に津波による被害(津波浸水高4~5m)が想定され、津波の到達時間内に避難することが困難であるなどの問題を抱えており、津波避難場所の確保は喫緊の課題となっています。

このため西浦地区においては、四国で初となる特定利用斜面保全事業により徳島県が実施する急傾斜地崩壊対策工事と、阿南市が実施する防災公園整備工事との事業調整を図り、土砂災害の未然防止と津波避難場所創出を一体的に整備しています。事業概要としては、がけ地を切り取ってできる斜面上部に約4,000㎡の敷地を創出し、約1,600人が避難可能な津波避難場所を整備するものです。現在、周辺の安全対策に配慮し、工事の進捗を図っており、避難地創出にかかる工事は完成が間近(平成22年3月末)に迫っています。

当県の県南部などでは、海岸に面する急傾斜地沿いの集落も多く、同様に津波避難場所の確保が問題となっています。今後も、地域のニーズに対応した土砂災害対策の推進を進めて参りたいと考えています。



【事業概要】

- ・事業名 特定利用斜面保全事業
- ・事業費 450,444千円(市費分含む)
- ・事業期間 平成12年度～平成21年度
- ・整備内容 施工延長170m、土砂掘削約60,000㎡、法面工3,400㎡、擁壁工350m

阿南市橋地区防災公園(仮称)について

徳島県 阿南市長 岩浅 嘉仁



近年世界の各地で大規模な地震が発生し、大きな被害が出ているところであります。また、阿南市においてもここ30年以内に南海地震が発生するという確率が60%程度、東南海地震が発生する確率が60%から70%となっており、今まで以上に住民に対して生命・財産等を守るため十分な周知を行うと共に防災対策が急務とされているところであります。

特に橋地区は昭和35年5月22日に発生したチリ津波により大きな被害を受けたところであります。こうしたことから、地元住民においては防災意識の高揚が図られ、早くから自主防災組織を結成し、昨年も防災訓練を多数の住民参加のもと実施しており、防災に対して積極的に取り組みをしているところであります。

また、ハード面として津波避難場所の確保のため阿南市橋町西浦地区において徳島県と連携を図り四国で初となる特定利用斜面保全事業としての取り組みを行っているところであります。

具体的な内容としては、徳島県が実施する急傾斜地崩壊対策工事に合わせて、阿南市が災害時の一時避難所となる防災公園整備工事を一体的に実施することにより、事業効率を図り、一日も早い完成をめざして進捗しているところであります。完成予定につきましては、徳島県の急傾斜地崩壊対策工事は平成22年3月を予定しており、阿南市の防災公園整備工事については、平成24年度を目途に完成予定としております。

橋地区防災公園(仮称)の、

- ・事業概要としては、有効面積A≒3,200㎡、避難収容人数:約1,600人
- ・施設の概要としては、避難備蓄倉庫1棟、駐車場、芝生広場、便所等の整備



消火訓練



幼稚園児等避難訓練

今後、地元住民が安心・安全に避難し、利用できる施設の早期完成を図ることにより災害時には十分な効果が発揮できるものと期待しております。